

平成30年度 南関東・東京ブロック 事業報告

1. 活動テーマ

多職種連携による地域包括ケアの推進

2. 目的

複雑多様化する地域の課題解決に向けた支援連携において、保健師がその機能を十分に発揮するため、他の職種の実践例や他自治体の取組から学び、柔軟な発想力と多様な視点での対応力を培う機会とする。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	6月9日(土) 10:00～11:40	中原区役所会議室	【第1回支部長会議】 ・全国保健師長会報告 ・今年度ブロック研修会企画 ・情報交換
2	9月29日(土) 10:00～15:00	中原区役所会議室	【ブロック研修会】 1 全国保健師長会活動の説明 40周年記念スライドショー 全国保健師長会会長 青柳玲子氏 2 調査研究班報告 宮城県北部保健福祉事務所 栗原地域事務所 技術次長 築場玲子氏 3 実践報告 ① 「はじめの一步～鎌倉市における多職種連携のはじまり～」 鎌倉市健康福祉部市民健康課 課長 石黒知美氏 ② 「いきいき百歳体操を取り入れた地域づくり」 さいたま市保健福祉局 長寿応援部いきいき長寿推進課 主幹 相馬由美子氏 4 講演 「まちづくりのために今、専門職が、企業が、住民ができること～おおた高齢者みまもりネットワーク(みま～も)の取り組み」 牧田総合病院支えあいセンターセンター長 澤登久雄氏 5 グループワーク 6 講評



終了後、みんなで記念撮影

4. 結果・課題

【6月支部長会議】

- ・平成30年度南関東・東京ブロック研修会内容について検討を行った。
- ・各支部の活動状況を共有した。各支部が特徴的な取組を行っており、参考になる部分も多くあった。

<出された意見>

- ・保健師長会の会員名簿の取り扱いについて、全会員で共有することの同意をとる必要があるのではないかという声がある。また職場PCのセキュリティ対策のためCDを使用できない状況があり、CD以外の方法がとれないか等。
- ・会員増加のため、会員であるメリットを感じられるような取組ができるとよいのではないか。例えばホームページに会員専用ページを作成するなど。

【9月ブロック研修会】

- ・台風24号の襲来を控え雨天の中実施され、90名が参加。
- ・午前の会長による会の活動報告、研究報告は会の全体像を知る機会になった。特に、40周年記念スライドショーは映像の精度が高く、終了後には拍手が上がった。
- ・多職種・多機関の連携や、地域包括ケアなどについて、2題の実践報告と、午後の講演とで、一連の流れを持って具体的に話され、参加者は自分の業務につなげて考えたことがアンケートからも読み取れた。具体的には、「明日からの取組の参考になった」「元気が出た」等の声が多くあった。
- ・実践報告では、事業展開を通して、その苦労や悩みなども盛り込みつつ、取り組んだ成果が語られ、多くの質問が出され、関心が高かった。
- ・講演会は、「専門職」の人たちができること、「地域」だからできること、また「行政の役割」が、大都市での市民・企業・関係機関との10年間の協働の取組を通して語られ、参加者からは「胸が熱くなった」「自分がやりたい活動だ」等の声があった。
- ・研修会全体を通して、「多職種との連携」というテーマを底流に、聞き、考え、交流する時間になった。

5. 支部活動の特徴

- ・各支部が様々な方法で会を運営しており、情報共有することで参考になる。
- ・意見交換が活発である。

6. 委員・支部長 氏名

所属

○理事	吉川	アズサ	川崎市健康福祉局保健所健康増進課
理事	田中	由佳	千葉県市川健康福祉センター（市川保健所）疾病対策課
埼玉県	桜井	文子	埼玉県保健医療部保健医療政策課
さいたま市	吉原	勝子	さいたま市健康福祉局保健所
千葉県	吉田	留美子	千葉県松戸健康福祉センター（松戸保健所）
千葉市	前嶋	祥子	千葉市健康福祉局保健福祉総務課
東京都	高橋	祥子	東京都多摩小平保健所保健対策課地域保健推進第一
東京都特別区	木内	恵美	文京区保健衛生部保健サービスセンター
神奈川県	重松	美智子	神奈川県厚木健康福祉事務所大和センター
川崎市	堀田	彰恵	川崎市子ども未来局 児童家庭支援・虐待対策室
横浜市	丹野	久美	子ども青少年局子ども福祉保健部子ども家庭課